Additional Information for Fudan University Double Degree Program

1．Overview

【受入学部名】

新聞学院（ジャーナリズム学術院）

【概要】

復旦大学ダブルディグリー・プログラム（以下、DDPとする）に派遣される学生は、復旦大学に１学年間留学し、復旦大学新聞学院においてダブルディグリー課程を履修します。授業は大半が中国語で行われるので、派遣者には中国語の高度な読解力、聴解力、会話力と一定水準の英語力が求められます。最終的に復旦大学が定める所定の要件を満たせば、復旦大学より、コミュニケーション学（文学）学士学位が授与されます。

【DDP留学生の義務】

- 参加学生は早稲田大学留学センターが定める各種留学規定（プログラム申込誓約書記載内容含）に従うこと。
- 本学と復旦大学とのDDPにかかわる各種イベント、報告などに積極的に参加すること。

2．Curricular Requirements

【復旦大学からの学士学位授与要件】

- 復旦大学の DDP 課程を修了し帰国後、早稲田大学の学士課程修了要件を満たして卒業すること。
- 復旦大学新聞学院が指定する DDP 課程指定科目を履修し、42 単位（科目履修 36 単位＋卒業研究 4 単位＋インターンシップ 2 単位）を取得すること。
- 計42日間以上のインターンシップに参加すること。
- 復旦大学の指示に従い、論文を復旦大学へ提出すること。
- 早稲田大学を卒業後、速やかに所定の手続きを完了すること。

※早稲田大学卒業後、所定の手続きを経て、復旦大学DDPの学位申請を行います。そのため、早稲田大学卒業後、学位申請に必要な手続きについて、CIEまたは復旦大学からご連絡する場合がありますので、その際は速やかにご対応ください。

なお、復旦大学DDPの学位記は、早稲田大学卒業時ではなく、その後の所定の手続きおよび学位申請を完了した後に授与されますので、あらかじめご了承ください。

【インターンシップについて】

- 参加時期は問いません（留学前/留学中/留学後のいずれでも可能）。
- 参加場所は問いません（日本での参加でも中国での参加でも可能）。
- インターン中に従事する業務内容についても特段指定はありません。
- 「計42日間」という参加期間については厳しくチェックが行われます。複数の異なる企業で「合計42日間以上」といった

参加方法も可能です。

- 参加企業からのフィードバック等を含めた参加証明書の発行が必要となります。 日本語の場合、ご自身で中国語に翻訳してください。
- 復旦大学の学位取得にはインターンシップが必要となります。ご自身で主体的にインターンシップ先を探して参加する必要があることをあらかじめご承知おきください。
- 留学中にインターンに参加する場合は、例えば復旦大学の学期が終わる時期（6月下旬）～寮の滞在可能期間終了時（7月末）までの間で参加していただく想定です。

3．Categories of Double Degree students you will accept (e.g. Only undergraduate students from the Schoolof International Liberal Studies are eligible to apply for this Double Degree Programme.)

全学部生

4．Mandatory fees Waseda students must pay to your institution

【早稲田大学生がダブルディグリー・プログラムに参加するために支払わなければならない諸費用】

派遣候補者は、留学開始前にダブルディグリー登録料（15 万円）を支払います。

【その他の費用】

ビザの取得に必要な健康診断費、各種保険費、渡航費、寮費、生活費（食費等）、諸費用（現地交通費）、小遣い等が必要です。